

【例】 個別緊急時対応マニュアル

緊急事態発生！

(予測されるものを具体的に)

なまえ

**A △△組保育士
(第一発見者)**

- ① **発見時刻・状態観察**
(教室の時計で確認)
- ② 声かけや体勢を整える
- ③ 状況を所長に伝える
※けいれんの場合は、
動画の撮影をしましょう。

B △△組保育士

- ① 「**△△組 緊急事態発生！(具体的に)**」
と叫びながら〇〇組(隣の組)に応援を呼ぶ
- ② **書類**を準備し、記録をとる
- ③ 他の子どもの安全確保

「救急車をお願いします」
「〇〇保育所です」
「消防と医療連携している子どもです」
電話番号は、〇〇-〇〇〇〇
住所は、呉市〇〇〇〇〇〇

大きな目標は〇〇小学校西側です。」
「私は〇〇です」
「症状は…」など

C 〇〇組保育士

- ① 所長・主任・看護師を叫んで呼ぶ
- ② △△組の子どもたちを〇〇組に移動させる

・急変が起きている事を確認した〇〇組は、**他の組(△△組)にも、救急車がくるかもしれないことを伝え**、子ども達が廊下に出ないように協力を呼びかける。

主任

- ・ **救急車を要請(携帯)**
消防署と医療連携をしている旨を伝える。
- ・ 保護者への連絡
① 母携帯…
- ② 自宅…
- ③ 父携帯…
- ・ こども施設課に連絡
(0823-25-3371)
- ・ 救急車の誘導

所長

- ・ **AEDを持って行く**
- ・ 状態の聞き取り
- ・ 他の職員の協力要請
- ・ 記録物を持ち、救急車に同乗(看護師でもよい)
- ※ **医療連携情報用紙と体重の分かるものを救急隊に情報提供する。**

看護師

- ・ **医療物品を持って行く**
- ・ 状況の確認
- ・ 状態の観察
- ・ 主治医の指示の緊急事の対応をとる
- ・ 心停止時は心肺蘇生とAEDをする

「〇〇しました。」「〇〇を呼びました。」「はい。」と声をかけあいましょう。
分からなかったり、聞き取れなかったりしたことは聞き返しましょう。